

### 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。  
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1		昨年度はコロナ禍で外出自粛、面会制限など制約が多い中、ホーム内で出来る活動に力を入れ認知症進行防止や筋力維持向上への取り組みを継続できるよう努めた。一方、今まで経験したことのない環境下において、家族との繋がりが途切れないよう手紙や電話を介してのコミュニケーションや制限の中での面会を続けて来た。その尊い時間により家族との新たな絆や利用者個々の残存能力にも気づいた。また、利用者各々が社会の中で生きているということを再認識するきっかけを得ることもできた。	コロナ禍で1年間温めていた思いを大切に、家族との間で新たに構築できた絆を育むと共に、社会の中での自らの役割を意識し、目標を持ち生き生きと生活できるように取り組む。	①利用者一人ひとりのコロナ禍で1年間温めて来た思いを把握する。 ・再度利用者一人ひとりの生活歴について家族から情報を得る等し詳細に把握する。 ・本人や家族の意向を確認する。 ・カンファレンスにて、生活状況からの気づきを共有する。 ・目標に対して職員間で話し合い共有する。 ・無理なく継続できることを目標にする。 ②実現可能に向けてのケアプランを作成する。	2ヶ月
				③週1回のカンファレンスにて実施状況について話し合い検討する。 ・活動時の表情や感想を把握する。 ・出来る事と出来ない事を見極め、ステップアップに繋がる目標を立てる。 ④運営推進会議(1回/2ヶ月)にて活動報告する。 ・日々の暮らしが分かりやすい写真を使いアルバムを作成し回覧する。 ・目標達成計画(2ヶ月毎)の取り組みを報告する。 ⑤毎月家族へ近況を報告し家族への協力を得	12ヶ月
				⑥目標達成状況を評価し新たな目標に向け本人や家族と話し合う。 ・状況や課題を再検討する事で、改善が必要とされる場合は見直しを行う。	12ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。